



## 「学校の新しい生活様式」に基づく教育活動を行います

学校が再開され三週間が過ぎました。子どもたちの元気な声が学校に響き、「三密」に配慮しての学校行事も規模を縮小して少しずつ実施しています。(裏面に様子を写真で掲載)

子どもたちは、学習の遅れを取り戻そうと授業に集中している様子が見られます。今年度は、「量より質」を心がけて、子どもたちの学びの保障と学力の向上に取り組みます。

今後、本校では、国が示した「学校の新しい生活様式」に基づき、感染予防の基本的な対策をした上で、可能な限り、全ての教育活動を実施していく予定です。

これからの季節では、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合や体育の授業においては、マスクを外してもよいことにしました。本地域の感染レベルをレベル1とした行動基準による対応ですので、ご理解とご協力をお願いします。

保護者の皆様には、これまで同様、保健室からの健康チェックカードによる登校前の健康観察と同居家族の状況を確認の上、お子様がハンカチ・ティッシュ及びマスクを忘れずに登校できるよう、準備をお願いいたします。

ひとみな うつく たね  
人皆に 美しき 種子あり

これは、校門を入ったところにある石碑に書かれている言葉です。詩人安積得也の「明日」という作品の一節です。前秋田県知事の小畑勇二郎氏の書で記されています。

実は、これには続きの一節があります。

「人皆に美しき種子あり明日何が咲くか」

人にとって、できないことや苦手なことをがんばるのは大切なことですが、できないことや苦手なことばかりをどうにかしようとしたら、くたびれてしまうこともあります。

本校では、いつでも子どもたちのよさや可能性に目を向けようと努めています。

どの子どもにも必ずその子なりのキラッと光るところがあります。また、子どものよさに目を向け始めると、ゆったりとした気持ちで子どもたちに接することができるのです。

子どもたちにも、自分自身のよさや可能性を見つめてほしいと思っています。だれにでも自分にしかないよさがあり、人は皆そのように生まれてきています。自分の奥底に潜んでいるよさや可能性を信じて、同時に他の人のよさにも目を向けるようになると、心が豊かになるし、よい人間関係が築けます。

本校職員は、一人一人のよさや可能性が広がるよう、指導、支援していきます。

ご家庭でも、「人皆に美しき種子あり」の言葉を思い、子どもへの声かけや温かい目での見守りをさせていただきますよう、よろしくをお願いします。



### 第1回学校運営協議会 (コミュニティ・スクール)

4月30日(木)に5名の委員の方に出席いただき、第1回学校運営協議会が行われました。学校経営方針等の承認など、学校の教育活動全般について、様々なご意見ご感想をいただきました。今後の学校運営に生かしてまいりたいと思います。

ありがとうございました。

今後の協議会の予定: 7/29 (協議等), 11/18 (協議等), 1/29 (集会参観と給食試食, 協議等)

